

高岸税務会計事務所 ニュースレター

当税理士事務所は気軽に相談でき、親身に
相談にのる税務・財務のスペシャリストです

高岸税務会計事務所

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町 9-19 カナブレ 202

電話：072-683-0230 FAX：072 - 683-0376

<http://www.gishitax.com/>

mail：info@gishitax.com

お気軽にお問合わせ下さい 072-683-0230



【コラム】 まもなく 50 歳を迎える一人の経営者が「まだ人生の 4 分の 1 だよ」と言いました。「200 歳まで生きるつもりだから、俺には老後がない」のだそうです。これをバカバカしいと笑うか、そんな考え方もあると思えるか。発想の転換ひとつでモノの見方は変わります。今年も広い視野でいきたいですね。

【サラリーマンで確定申告が必要な場合とは？】

サラリーマンは自分自身でやらなくても、毎月の給料から税金が天引きされ、年の暮れには自動的に年末調整が行われます。しかし、サラリーマンであっても、確定申告が必要な場合もあります。また、それにより税金が戻ってくることもあるのです。

例えば、副業があります。昔は認められなかった副業も、長引く不況のため最近では認めている会社も多いようです。会社が終わった後の数時間や土曜日、日曜日だけ働くといった場合、副業先の収入はそれほど多くはないかもしれませんが、主となる会社と副業先の二ヶ所から給与をもらうことになるため、その二つを合算し確定申告をしなければなりません。



また、趣味のホームページから広告収入などがある場合、これは雑所得という分類になります。この場合、年間の所得（収入から経費を引いた正味の儲け）が 20 万円を超えると確定申告が必要となります。20 万円以下であれば確定申告は不要なのですが、仮に所得税が源泉されるような収入であれば、場合によっては確定申告をすると源泉されていた所得税が戻ってくることもあります。ただし、その場合は、確定申告をすることにより住民税は上がります。そのため「戻ってくる所得税分」と「上がる住民税分」を的確に計算しないと、逆に損するおそれもありますので注意が必要となります。

【郊外型アウトレットモールはなぜ？伸びる】

有名百貨店でさえも低価格志向へ転換し、商品全体の値頃感が下がる中、家電や調理器具、食品など多くのテナントが入った郊外型のアウトレットモールが順調に新たな顧客を取り込んでいます。また、個性的なご当地グルメのフードコートやスポーツテーマパークなど、付帯施設やサービスの充実により、その客層をさらに広げています。新しいタイプの観光施設へと変化したアウトレットモールは、既成概念にとらわれない柔軟な店舗展開が功を奏したと言えそうです。



【今月の教えてキーワード：インフラ輸出】

日本企業の技術力などを生かし、原発や鉄道、水道施設などの社会基盤を輸出するビジネスのこと。新興国の台頭で世界のインフラ投資額は急激に伸びており、各国による官民を挙げた受注競争が激化している。日本政府も2010年6月に閣議決定した新成長戦略でインフラ輸出を推進する方針を明確に打ち出した。日本の環境技術や資金力は新興国からの期待も強く、また経済効果が大きいだけに受注の可否が注目されている。

【商売の「カキクケコ」】

昨年チリで起きた鉱山事故のてん末には何かと考えさせられました。役割分担の重要性。リーダーたる資質。極限状態の人間心理。礼拝による心の平静。さらに、奇跡的な大救出劇のあとから漏れ伝わるこぼれ話は、人間がいか「欲」の支配下にあるかを物語っていました。



少ない物資を分け合っていたときは団結していたのに、地上と交流できるようになって食料などに困らなくなると、テレビ電話の利用時間やテレビのチャンネル争いなど、生存と関係ないところでケンカが絶えなくなったそうです。事故を追ったドキュメンタリー

番組で、ある作業員が「救援物資が届くようになってから人々の心に欲が生まれた」と話していました。

事故当初は「とにかく全員で無事に脱出」が作業員の一致した願望だったに違いありません。ところが、生存の危機という局面に希望が見え始め、閉じ込められた状態に慣れてきたことで、個人的な欲が顔を出し始めたのではないかと想像します。余裕と慣れは欲を生むのでしょうか。

帝国データバンクが創業100年以上の老舗企業4000社を対象にしたアンケートによると、「家訓・社是・社訓」があると答えた企業が77.6%にのぼったそうです。その共通点を分析したところ5つのキーワードが浮かび上がり、見事に「カキクケコ」になっていました。「カ=感謝、キ=勤勉、ク=工夫、ケ=儉約、コ=貢献」。帝国データバンクでは、この「カキクケコ」を「会社が100年続く条件」としていました。

100年の間にはそれなりの浮き沈みがあったでしょうが、業績が良くても悪くても「カキクケコ」を忘れない。「会社のカキクケコ」は、余裕と慣れへの戒めであり、つまりは「欲」に対する警鐘ともとれます。個人的な欲が商売の方向性を狂わせていないでしょうか。新年を迎えて身が引きしまる今の時期は、5つのキーワードから自らの商売を考えてみる絶好の機会ではないでしょうか。

今を生きる
先人の言葉

何困困
れ。
もが
な
き
や
ない

本田技研の創業者である本田宗一郎の言葉。悩んでも何も解決はしない。だが、困ったら何とかしようと思死で考え、知恵が湧く。悩むな。悩むその前に困るんだ！

サラリーマン妻
川柳
家計簿を
つけても
せいぜい
三が日
（俗に
三日坊主
とも
言う）